平成１７年３月期　第３四半期業績の概況

平成 17 年 1 月 31 日

上 場 会 社 名　　株式会社 熊 谷 組　　（コード番号：1861　東証第１部）
（URL　http://www.kumagaigumi.co.jp）
代　　表　　者　　取締役社長　　鳥飼　一俊
問合せ先責任者　　管理本部主計部長　吉川　　司（ＴＥＬ：03-3235-8606 ）

１．平成 17 年 3 月期の業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（１）連結業績予想　（注）百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高
17 年 3 月期予想	315,000 百万円　△ 7.8%
16 年 3 月期実績	341,739 百万円　△ 34.6%

（注）パーセント表示は、前年同期比増減率

（２）個別業績予想

	売上高	受注高（建設事業）
17 年 3 月期予想	245,000 百万円　△ 11.2%	217,000 百万円　△ 4.7%
16 年 3 月期実績	275,760 百万円　△ 37.8%	227,720 百万円　△ 13.8%

（注）パーセント表示は、前年同期比増減率

【連結・個別業績予想に関する定性的情報等】

現在まで売上、受注とも堅調に推移しており、中間決算発表時（平成 16 年 11 月 26 日）に公表した業績予想数値から変更はございません。

なお、当社は平成 15 年 10 月 1 日付で不動産事業等の会社分割を行っており、上記連結及び個別の 16 年 3 月期売上高実績には、会社分割前迄の不動産事業等の売上高が含まれております。

２．平成 17 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

（１）個別受注実績

	受注高（建設事業）
17 年 3 月期第 3 四半期	153,734 百万円　△ 6.3%
16 年 3 月期第 3 四半期	164,012 百万円　△ 19.4%

（注）①受注高は、当該四半期までの累計額
②パーセント表示は、前年同四半期比増減率

（参考）受注実績内訳　　（単位：百万円）

区分			平成17年3月期 第3四半期	平成16年3月期 第3四半期	比較増減	増減率
建設事業	土木	国内官公庁	33,462（ 21.8%）	27,754（ 16.9%）	5,707	20.6%
		国内民間	14,079（ 9.2 ）	16,121（ 9.9 ）	△ 2,042	△ 12.7
		海外	953（ 0.6 ）	26,438（ 16.1 ）	△ 25,485	△ 96.4
		計	48,495（ 31.6 ）	70,315（ 42.9 ）	△ 21,820	△ 31.0
	建築	国内官公庁	14,316（ 9.3 ）	13,889（ 8.5 ）	426	3.1
		国内民間	87,351（ 56.8 ）	73,238（ 44.6 ）	14,113	19.3
		海外	3,571（ 2.3 ）	6,568（ 4.0 ）	△ 2,997	△ 45.6
		計	105,239（ 68.4 ）	93,696（ 57.1 ）	11,542	12.3
	合計	国内官公庁	47,778（ 31.1 ）	41,644（ 25.4 ）	6,133	14.7
		国内民間	101,430（ 66.0 ）	89,360（ 54.5 ）	12,070	13.5
		海外	4,525（ 2.9 ）	33,007（ 20.1 ）	△ 28,482	△ 86.3
		計	153,734（100 ）	164,012（100 ）	△ 10,277	△ 6.3

（注）（　）内のパーセント表示は、構成比率

【個別受注実績に関する定性的情報等】

当該四半期における受注実績は、国内は官公庁土木工事及び民間建築工事が順調に回復基調を堅持し、前年同期に比べ182億円（前年同期比13.9%）増の1,492億円となりました。

海外は前期に大型工事の受注が重なり手持工事高が増加したため、当期は抑制方針で取り組んでいることもあり、前年同期に比べ284億円（同86.3%）減の45億円となりました。

（２）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

当社グループは、「経営構造改革3ヵ年計画」に則り、安定した収益を確保、維持できるよう経営基盤を強化するため、有利子負債の圧縮に取り組んでおります。

当期においては6月に引き続き12月に借入金の前倒し返済を行い、当該四半期末現在の当社有利子負債残高は17年3月末計画値を71億円下回る692億円（連結：747億円）と前期末に比べ118億円（連結：118億円）減少しております。

以　上